



子供たちを私のもとへ来させなさい

Viator

VOL.001

子供たちを私のもとへ来させなさい

クリスマス、おめでとうございます

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。

その名はインマヌエルと呼ばれる。」

この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

(マタイによる福音書 1-23)

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。
独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

(ヨハネによる福音書 3-16)

Merry Christmas and Happy New Year 2012



カトリック聖ヴィアートル北白川教会 2011年12月24日発行

ホームページ：<http://www.stviator-kitashirakawa-catholicchurch.or.jp>

信徒の小部屋

前回の広報誌より、信徒の交流・分かち合いの場になればと設けたコーナーですが、第2回目は役員の野村さんをお願いいたしました。

快くお引き受けくださり、ありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

「福音書を読んで」

Y.N

今、「私」を見つめると、自分の言葉で隣人を苦しめ心に傷を負わせてしまい、「ごめんなさい」も言えない自分が私の中にいます。このことは、「ありのままの隣人」を受け止められない自分の限界を知らされることになり、自分自身の心をも傷つけていることになります。

自分が癒されないために、「エゴイズム」に振り回されて隣人を傷つけてしまうだけでなく、イエスの話される「み言葉」さえも聞けなくなっています。自分が癒されていくためには、ごまかしの「癒し」ではなく、福音書で出会う真実の「癒し」や、分かち合いで話される真実の「癒し」が求められるのでしよう。

私たちが福音書の中で真実の「癒し」に出会えるようにと願っています。

重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来て、ひざまづいて願い、「御心ならば、私を清くすることが・・・」

イエスが深く憐れんで手を差し伸べ・・・ マルコ 1：40 より

疲れた者、重荷を負う者は、だれでも私のもとに来なさい。

休ませてあげよう。

私は、柔和で謙遜な者だから、私のくびきを負い、私に学びなさい。

そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。 マタイ 11：28 より

今日までの出来事

11月6日 バザー

今年も恒例の北白川教会バザーが開催されました。雑貨だけにとどまらず、食品コーナー、食堂も大盛況でした。ご参加くださったみなさま、準備に尽力してくださった係りの皆様
に感謝いたします。

11月20日 七五三ミサ (子供ミサ)

Br. 菅原のお説教の後、みんなで神様から頂いたそれぞれのタラントン(才能)について考えたあとは・・・
ごミサ後に神父様方から千歳飴のプレゼントをもらって子供たちは大喜びでした！神様のご加護のもと、子供たち健やかな成長を願わずにはいられない御ミサでした。



12月4日 ベリーニ神父様、Br. 菅原お誕生日パーティー

ベリーニ神父様と Br. 菅原のお誕生日パーティーを開催しました。日曜学校の子供たちのピアノ演奏によるハッピーバースデーの合唱の後、ろうそくを二人で吹き消していただき、みんなでお祝いしました。



12月18日 日曜学校クリスマス会

日曜学校のクリスマスパーティーが行われました。

赦しの秘跡を受けた後、みんなでお母さま手作りのシチューと、一信者の方がお手製のブッシュ・ド・ノエルを差し入れてくださり、みんなでおいしくいただきました。その後、待ちに待ったサンタさんからのプレゼント！子供たちは、みんな大喜びでサンタさんと写真を撮ったり、色々な質問をしていました。サンタさんから「これから、中国の子供たちのところに行かないといけないから、さよならね！」と言われると「昨日、保育園に来たサンタさんも同じこと言ってたよ」「ねえ、どっから来たのかな？」など、子供ならではのかわいい質問攻めにあって、サンタさんは困惑の表情・・・。



たくさんの方々のご協力を頂いて、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。
子供たちにとって、良い思い出となったことを祈ります。

東日本大震災のための支援活動

「東北復興支援の日」バザー

当教会の妙齢のご婦人方で構成される「弥生会」の呼びかけのもと、教会行事が予定されていない毎月第4日曜日にケーキセットや雑貨・衣服などを扱ったミニバザーが行われています。毎回、大盛況です！すでに義援金は50万円を超えました。継続的な長期活動が必要であると、皆が考え、思っています。どうぞ、多くのご参加、ご協力をよろしくお願いします。

11月12日 東日本大震災遺児支援 教会チャリティーコンサート

(混声合唱とオルガンのひととき－アンサンブルアカデミー京都)

本当に、多くの方々に来ていただいて、無事に終了いたしました。みなさん、歌声とオルガンの響きに聞き入っておられました。震災にあわれた方が、希望を失われずにおられますようにと祈りが込められたひと時となりました。私たち、一人ひとりの祈りが届きますように・・・。

11月3日 南部京都ウォーカーソン

おかげさまで、お天気に恵まれ無事に終了いたしました。今年も広報部が窓口となり今年も参加することとなりました。多くの皆さまのご協力、ご参加を得られたことにお礼申し上げます。日曜学校の子供たち、ご家族の皆さん、その他信徒の皆さん、お疲れさまでした！スポンサーになってくださった方々にもお礼申し上げます。ありがとうございました。



編集後記：VIATOR 発刊に際して

11月まで当教会の広報誌は「KIKI」というタイトルで発行しておりましたが、かねてより「KIKI」の語感が本来の「喜祈」ではなく「危機」を連想すると云う意見が、東日本大震災に見舞われて以来多く聞かれることとなり、変更を検討しておりましたが、11月の評議会で「VIATOR」という名前が決定されました。「VIATOR」という広報誌はかなり前に56号までは発刊されておりますので、本来なら続版と云うこととなりますが、創刊とさせていただきます。今後の発行スケジュールは原則として季刊とさせていただきます。ご意見、ご寄稿を切にお願いいたします。



旧 VIATOR 56号